

科目名	ウエディングセレモニー論B						
科目名(英)	WEDDING CEREMONY						
単位数	2	時間数	30	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) バンケットキャプテン(3年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	2年次のブライダルコーディネーター技能検定(国家資格)に向けて、ブライダルにおける職種毎の業務内容(打ち合わせ・手配・準備・当日)を学び、挙式や披露宴のコンセプトの作成法を身に付け、お客様に合ったブライダルアイテムの選定が出来る力を付ける。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ブライダル業務(新規~成約)を知り説明する事ができる。	
	○	○				ブライダル業務(手配業務)を知り説明する事ができる。	
	○	○				ブライダル業務(当日業務)を知り説明する事ができる。	
	○	○				挙式・披露宴でのコンセプトシートを作成しアイテムの提案ができる。	
○	○				ブライダルアイテム(料理・衣裳・演出・装花)を知り説明する事ができる。		
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキスト<スタンダード> ブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	LESSON1~3 前期の復習			1年次の復習をしておくこと		
	2	LESSON4 コーディネーター業務について①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	LESSON4 コーディネーター業務について②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	LESSON5 打合せ業務について①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	LESSON5 打合せ業務について②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	LESSON6 コンセプトシートについて①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	LESSON6 コンセプトシートについて②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	LESSON6 コンセプトシートについて③			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	9	LESSON6 コンセプトシートについて④			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	10	LESSON6 コンセプトシートについて⑤			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	11	LESSON7 手配業務について①			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	12	LESSON7 手配業務について②			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	13	LESSON8 当日業務について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	14	まとめ・最近のブライダル業界について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
15	後期試験対策			14コマまでの復習をしておくこと			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)毎回小テスト(筆記)を実施する。(3)レポート提出(理解度確認)以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				60%
	小テスト	◎	◎		◎		30%
	レポート提出	◎	◎		◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ブライダル衣裳 I						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15	担当者	三輪 美波留		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	フリーウェディングプランナー ドレスショップ		
対象学科・学年	ブライダル・ウェディング科 1年						
授業概要	ドレスコーディネーターとして知っておきたい婚礼衣裳のトータルな基本知識を身につけ、特性を説明することができる。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習: △	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					衣裳の種類・名称など基本的な知識を身につけ、商品説明ができるようになる	
			○			ドレスのフィッティングについて学び、お客様に正しい着せつけができる	
		○				お客様のご希望やシチュエーションに合わせた衣裳について知識をつけ、適したご提案ができるようになる	
				○		実際のドレスショップの見学により、スタッフの態度を見聞することで、接客マナーを身に着ける	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション・ドレスコーディネーターとは・衣裳のしくみ			(テキストP49-51)		
	2	ドレスの基礎知識(試着体験・ドレスラインやドレスの着せ方・構造・サイズについて)			試着ができる準備・テキストP2-8予習		
	3	ドレスの基礎知識(有名人のドレス知識・ブランド名やドレスショップの知識)			2回目授業の復習・テキストP10-19予習		
	4	ドレスの基礎知識(生地・小物の知識)シーンに合わせたご提案について			レポート①自身が着たい衣裳について提出・テキストP20-31予習		
	5	和装の基礎知識			テキストP34-43予習		
	6	メンズ衣裳(洋装・和装)・列席衣裳について			テキストP44-48		
	7	洋装・和装基礎知識(下着・お直し・クリーニングなど)・総括			授業の資料をまとめておくこと		
	8	ドレスショップ見学(TAKAMI BRIDALにて)			レポート②ドレスショップ見学レポート提出		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)レポートを2回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	◎	◎				60%
	レポート提出	◎	◎		◎		40%
履修上の注意	出席が5回に満たない場合は単位をあたえない。ドレスコーディネーターはお客様の肌に触れる程、より身近な存在の立場の業種の一つです。普段の授業態度から、接客員の体質に慣れるように意識して受講しましょう。						

科目名	宴会実務						
科目名(英)	Banquet Business						
単位数	2単位	時間数	30	担当者	一岡 浩己		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	外資系ホテル13年勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	ホテル業界で活躍する能力を身に付けるにあたり、ホテルにおける宴会部門にて必要な専門知識や技術を習得する必要がある。この授業では、主に宴会の概要・種類・形式・サービス・予約・営業を学習し知識を習得。また、シャンパンサービス・マイクアテンドの演習も行う。						
授業形式	講義:	○	演習:	実習:	実技:	△ ※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				宴会部門に必要な各種レイアウトに対し、正確に答えることができる。	
			○			宴会場設営:シアター形式・スクール形式を作ることができる。	
		○				主要宴席の実施月が説明できる。個人商品の「長寿の祝い」を説明できる。	
			○			シャンパンサービスが行えるようになる。	
			○			マイクアテンドが行えるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	宴会管理論 小野田正美 著 株式会社 マーケティング オフィス						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	項目:ホテルで行われる宴会の概要 内容:定義・商品の全体像について				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。	
	2	項目:宴会や会議の種類と概要① 内容:宴会実施カレンダー・季節別				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。	
	3	項目:宴会や会議の種類と概要② 内容:業種別・通年宴会・慶事・弔辞				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。	
	4	項目:宴会サービスセクションの業務 内容:各役割・用語の説明				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。	
	5	項目:宴会・会議等のスタイル別種類と概要 内容:立食・円卓・流し・ロ・コの字・展示会・スクール・シアター・島				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。	
	6	項目:宴会実技① 内容:テーブルセッティング(ショープレート位置)				各種レイアウト作成において、注意すべき点を考える。 また、スタンバイの基準を考える。	
	7	項目:宴会実技② 内容:シャンパンサービス練習①					
	8	項目:宴会実技② 内容:シャンパンサービス練習②					
	9	項目:宴会実技② 内容:マイクアテンド					
	10	確認テスト①・解説				これまでの授業の範囲を復習しテストに備える	
	11	項目:宴会予約・営業セクションの業務 内容:宴会予約・販売の役割について				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。	
	12	項目:宴会備品・用語について 内容:備品の説明・用語の確認、理解				備品リストの確認を行うこと	
	13	項目:宴会手配書(請書)の説明・作成				教科書の該当範囲を読み、 わからない用語を調べること。	
	14	確認テスト②・解説				これまでの授業の範囲を復習しテストに備える	
15	正試験対策(宴会実務まとめ)・まとめレポート作成				これまでの宴会実務で使用した資料を復習すること		
評価方法	(1)授業中での小テスト2回実施(2)期末正試験(筆記) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				40%
	小テスト1回目		◎				20%
	小テスト2回目		◎				20%
	レポート	○	○				20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ブライダルフラワー I B						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2022	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科1年						
授業概要	前期に学んだ生花の取り扱い方法を実践し、行事に合ったアレンジや、ブライダル装花が作れるようになる。ブーケ、ブートニアの成り立ちを学ぶ						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	△					ブーケ、ブートニアの起源についてお客様に説明できるようになる	
		○				ダースンローズの形式のセレモニーの流れを学ぶ	
	△					ブーケの形、ドレスとの組み合わせ方を学ぶ	
		○				ラウンドブーケを作れるようになる	
		○				クリスマスや正月に合わせた行事の花のアレンジができる	
テキスト・教材 参考図書	ブライダル装美と演出・生花・造花・ワイヤー・フローラルテープ						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ブーケ、ブートニアの成り立ちについて学ぶ				ブライダル装美と演出のブーケのところを読んでおくこと	
	2	ブーケの起源に基づいて『ダースンローズ』のセレモニーを実演する					
	3	1回目の小テスト/ブーケの形と特徴を理解する				1,2回目の授業復習をする	
	4	ブーケの特徴から似合うドレスの組み合わせができるようになる				3回目の授業復習をする	
	5	2回目の小テスト/ラウンドブーケについて/行事の花材料準備				4回目の授業復習する	
	6	クリスマスの花アレンジ作成					
	7	お正月の花アレンジ作成					
	8	ラウンドブーケ作成					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する (2)実技の作品発表						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト(2回)	◎	○				40%
	発表・作品		◎				60%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	ブライダル接遇演習 I						
科目名(英)	Bridal skill proficiency I A						
単位数	2	時間数	30	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーターとして勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	社会人として好感を持たれる態度や話し方、社会人として求められる心構え・マナーを身に付ける。またブライダルカウンターにて、婚礼予約のカップルを来店からご契約まで担当することを想定し、一連の業務に必要な知識、話術、顧客対応の基本を学び、お客様の対応がスムーズにできるようになる。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○		○		相手の立場になって考え行動できる。	
			○			シチュエーションによるお客様との会話ができるようになる	
	○	○				適切な敬語を使えるようになる。	
	○			○		好感の持たれる態度や話し方・聞き方ができる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ブライダルでの当日の現場業務					
	2	電話でのご案内					
	3	言葉遣いの応用					
	4	接客資料作成①					
	5	接客資料作成②					
	6	新規接客(館内案内)					
	7	中間実技試験					
	8	招待状打ち合わせ					
	9	席次打ち合わせ					
	10	会場装花打ち合わせ					
	11	婚礼料理打ち合わせ					
	12	当日のアクシデントの対処方法					
	13	クレーム対応について					
	14	実技復習					
15	実技試験						
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)中間実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	◎	○		50%
	中間実技テスト		○		◎		50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	カラーコーディネート演習B						
科目名(英)	Color coordination exercise B						
単位数	1	時間数	15時間	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) パンケットキャプテン(3年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	前期(カラーコーディネート演習A)パーソナルカラーの基礎を元に、パーソナルカラリスト検定3級合格の基礎作りをする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					色の三属性やCUS表色系を使って、検定問題に応用することが出来る。	
	○					パーソナルカラーの診断を活用し、検定問題を解くことができる。	
	○					パーソナルカラーを分類しメイクやファッション、インテリアなどの配色に活かすことが出来る。	
テキスト・教材 参考図書	パーソナルカラリスト検定3級テキスト・カラーカード・COLOR Arrangement						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	オリエンテーション・前期の復習(色の三属性)			テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと		
	2	前期の復習(CUS表色系)			テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと		
	3	パーソナルカラー診断応用①			テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと		
	4	パーソナルカラー診断応用②			テキストの該当箇所を事前に読んでおくこと		
	5	検定問題①			課題プリント		
	6	検定問題②			課題プリント		
	7	検定問題③			課題プリント		
	8	まとめ					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)課題プリント2枚配布。(2)定期テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題プリント	○			○		50%
	定期テスト	○	○				50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	ブライダルメイクB						
科目名(英)	Bridal make B						
単位数	1	時間数	15時間	担当者	武田 真希		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	ヘアメイク・着付け・エステ		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	前期に学んだヘアメイクの基礎知識をもとに、ブライダルの現場においてお客様にヘアメイクできるような知識と技術を身につける。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
		○				お客様にヘアメイクを施す上での基礎的な知識と技術を身につける。	
			○			モデルに対して顔のパーツごとに適切なメイクを施すことができる。	
			○			人に簡単なヘアアレンジができるようになる。	
			○			ヘッドアクセサリーの種類と付け方を身につける。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ブライダルにおけるヘアメイクの基礎知識					
	2	メイクを人に施す上での基本理論、実践(相モデル)				前回のプリントを復習しておくこと	
	3	メイク実践(相モデル)				前回のプリントを復習しておくこと	
	4	ヘアアレンジ(基礎)				前回のプリントを復習しておくこと	
	5	ヘアアレンジ(応用)				前回のプリントを復習しておくこと	
	6	ヘッドアクセサリー・ベールの使い方				前回のプリントを復習しておくこと	
	7	ヘアアレンジ(応用)				各自練習しておくこと	
	8	トータル仕上げ、評価				各自練習しておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験		○	◎	○		100%
履修上の注意	出席が5回に満たない場合は、単位を与えない。 演習が中心の為、忘れ物がないよう注意						

科目名	ブライダル産業演習 I B								
科目名(英)	Bridal Industrial exercise I B								
単位数	1	時間数	15時間	担当者	中村 直輝				
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) パンケットキャブ テン(3年) ドレスショップマネージャー(2年)				
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年								
授業概要	ブライダル業界を知るために、和婚セミナーなど、業界人を招いての講義を行なう。 また、最新のブライダル情報を知るために、ブライダル施設を見学し、知識を増やして就職活動に役立てる。								
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:	<input type="radio"/>	実習:		実技:		※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標			
	<input type="radio"/>					ブライダル施設見学をし、ブライダル業界の知識を高める			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			結納の由来、歴史を学び説明できるようにする			
	<input type="radio"/>					ブライダル業界で活躍している先輩の話を聞き、現場理解をする			
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>			神前式についての理解を深める			
テキスト・教材 参考図書	2022ブライダルのお仕事 ゼクシィ(福岡・佐賀版)								
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示			
	1	ブライダル業界の就職活動について							
	2	ブライダル施設見学							
	3	ブライダル業界現役スタッフによる講話(プランナー・プロデューサー業務)							
	4	結納について和婚セミナー講義							
	5	ブライダル業界現役スタッフによる講話(ドレススタイリスト業務)							
	6	ブライダル業界現役スタッフによる講話(ジュエリーコーディネーター業務)							
	7	ブライダル業界現役スタッフによる講話(ホテルウエディング業務)							
	8	神前式体験(神前式の流れ)							
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
15									
評価方法	(1)施設見学レポート (2)和婚セミナーレポート (3)ブライダル業界について課題提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。								
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	施設見学レポート	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				40%		
	和婚セミナーレポート	<input checked="" type="radio"/>			<input type="radio"/>		30%		
	業界について課題提出	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				30%		
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。								

科目名	ブライダルネイル						
科目名(英)	bridal nail						
単位数	1	時間数	15	担当者	河本先生		
実施年度	2022	実施時期	後期	担当者実務経験	ネイリスト10年		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科1年						
授業概要	ネイルに関する基礎知識や技術を学び「ネイル知識検定」取得を目指す						
授業形式	講義:	<input type="radio"/>	演習:	<input type="radio"/>	実習:		
				実技:	<input type="radio"/>	※ 主たる方法: <input type="radio"/> その他: <input type="triangle"/>	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	<input type="radio"/>					ネイルにおける基礎知識を身に付ける	
	<input type="radio"/>					爪の形やケアの方法を知る	
	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				ネイルの基礎的な技術を学び自身で作成することができる	
	<input type="radio"/>					ネイル用具の名称や役割を覚える	
テキスト・教材 参考図書	JNA公式テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ネイルとは(歴史とネイリストの仕事)検定および授業の流れ説明				授業プリント配布 各自手持ちのネイル用品を持参	
	2	爪の構造と専門用語(小テスト実施)				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	3	ネイル技術①(実技:ポリッシュオフ、カットスタイル)				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	4	ネイル技術②(実技:ネイルケア、リペア)				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	5	カラーリングテクニック(実技:カラーリング)				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	6	色彩について(小テスト実施)				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	7	ネイルチップについて(ブライダルネイル)				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	8	応用編まとめ(検定受験)ネイル知識検定				授業プリント 各自手持ちのネイル用品を持参	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で実技試験を実施する。(2)復習実技テスト実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技テスト		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		50%
	小テスト	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>		50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。演習が中心の為、忘れ物がないよう注意						

科目名	サービス接遇 I B						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	30	担当者	東 まゆみ		
実施年度	2022	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場にてフラワーコーディネーター勤務		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科1年						
授業概要	前期に学んだサービス接遇検定を復習しながら、実際のお客様の接客ができるようになる						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					接客用語を正しく遣う	
		○				決まり事やマナーを考えて行動する	
			○			お客様のご案内、接客をスムーズにできる	
テキスト・教材 参考図書	実践ビジネスマナー						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会人としての心構え					
	2	基本動作					
	3	実技試験①				1, 2回目の復習	
	4	言葉遣いの基本				尊敬語、丁寧語、謙譲語の復習	
	5	中間確認テスト①					
	6	来客対応①					
	7	来客対応②					
	8	電話対応①					
	9	電話対応②					
	10	中間確認テスト②				来客対応復習	
	11	訪問マナー					
	12	実技試験②				お茶の出し方復習	
	13	言葉遣いの復習					
	14	ご案内の復習					
15	実技試験③				お出迎え～お見送りまで復習		
評価方法	(1)授業の中で小テストを2回実施する。 (2)実技試験を3回実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験3回		◎	○			
	小テスト2回	○					
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	文章表現 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	合力朱実		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	書くことの基本スキルを学ぶことによって、就職試験に必要とされる「読む力」「書く力」を身につける。また、伝わる文章の作成を目指し、変化する社会に必要な「論理的思考力」「コミュニケーション力」を身につける。文章検定4級の取得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					正しい言葉・文法を使って、文章を書くことができる。	
		○				資料や図表から情報を正しく読み取ることができる。	
		○				文章の中で、文や段落の役割、文章の要旨を理解することができる。	
		○				日常生活で必要な通信文を書くことができる。	
		○				2段落構成の意見文を書くことができる。	
テキスト・教材 参考図書	「基礎から学べる！文章カステップ」(文章検4級対応)、プリント						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	科目概要、小テスト第1回文章検定模擬試験					
	2	第1章 語彙・文法(1～3ステップ) 語句の正しい意味、文法の用法			テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。当該部分を復習すること。		
	3	第2章 資料分析(1～5ステップ) 統計データの意味			テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。当該部分を復習すること。		
	4	第3章 文章読解(1～2ステップ) 語彙の意味、指示語・接続語			テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。当該部分を復習すること。		
	5	第3章 文章読解(3～5ステップ) 文・段落の役割と関係			テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。当該部分を復習すること。		
	6	第3章 文章読解(6～7) 文章の構成・要旨			テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。当該部分を復習すること。		
	7	第4章 手紙文(1～3ステップ) 手紙の形式・約束事、敬語			テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。当該部分を復習すること。		
	8	第4章 手紙文(4～6ステップ) 手紙の構成、作成			テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。当該部分を復習し、手紙は仕上げしておくこと。		
	9	第5章 意見文(1～3ステップ) 意見文の構成			テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。当該部分を復習すること。		
	10	第5章 意見文(4～5ステップ) 意見文の作成練習			テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。当該部分を復習すること。		
	11	小テスト 第2回文章検定模擬試験			テスト内容を復習しておくこと。		
	12	第5章 意見文(6ステップ) 意見文の作成			テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。当該部分を復習し、意見文は仕上げしておくこと。		
	13	第5章 意見文の推敲 テキストまとめ問題			テキスト当該部分を事前に読んでおくこと。当該部分を復習すること。		
	14	小テスト 第3回文章検定模擬試験			テスト内容を復習しておくこと。		
15	まとめと試験対策			文章検定に向け復習。			
評価方法	(1) 正試験の実施。(2) 授業内での復習テストを実施する。(3) 授業内で課題提出(4) 授業内での発表。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎		○		70%
	小テスト	○			◎		10%
	宿題・レポート	○	○		◎		10%
	発表・作品	◎	◎		◎		10%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、正試験の受験資格を与えない。						

科目名	SPI I						
科目名(英)	SPI I						
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2021年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル科1年						
授業概要	採用試験に導入されているSPIの対策授業。制限時間内での正確な解答を目指し、解法を理解し問題に解答できる基礎力を養成する。						
授業形式	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
					※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					非言語分野問題の解法を理解し、式を立て、解答を導くことができる	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要・シラバス説明、四則演算、速度算①				該当箇所の復習(0.5時間)	
	2	四則演算、速度算②				該当箇所の復習(0.5時間)	
	3	速度算、四則演算①				該当箇所の復習(0.5時間)	
	4	速度算、四則演算②				該当箇所の復習(0.5時間)	
	5	速度算、仕事算、四則演算①				該当箇所の復習(0.5時間)	
	6	速度算、仕事算、四則演算②				該当箇所の復習(0.5時間)	
	7	損益算、四則演算①				該当箇所の復習(0.5時間)	
	8	損益算、四則演算②				該当箇所の復習(0.5時間)	
	9	損益算、四則演算③				該当箇所の復習(0.5時間)	
	10	損益算、四則演算④				該当箇所の復習(0.5時間)	
	11	集合、推論、四則演算①				該当箇所の復習(0.5時間)	
	12	集合、推論、四則演算②				該当箇所の復習(0.5時間)	
	13	集合、推論、四則演算③				該当箇所の復習(0.5時間)	
	14	集合、推論、四則演算④				該当箇所の復習(0.5時間)	
	15	まとめ					
評価方法	(1)定期試験 (2)出席状況を意欲点として評価 以上を下記の観点・割合で評価する。成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	試験(授業内)	◎	○		○		60%
	出席状況				○		40%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、試験の受験資格を与えない。						

科目名	Word						
科目名(英)	Word						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	Word2010を使用し、日本語の入力および文書処理能力を身につけ、ビジネスの現場で必要とされるレポートや報告書の作成活用能力の向上を図ることを目的として実施する。またビジネス文書作成の基礎的な技能を有していることを確認するためWord文書処理技能認定試験3級の合格を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			キーボードの文字位置を覚え、キーボードを見ずにタイピングをする。	
		○	○			ビジネス文書の基本的な構成を組み立てる。	
		○	○			Wordの編集操作を行い、様々な書式のビジネス文書を作成する。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	正しいタイピング・Word基礎・文字入力・文字変換・文字修正			タイプクイックLesson1～6		
	2	正しいタイピング・Word基礎・短文入力・短文変換			タイプクイックLesson1～6		
	3	正しいタイピング・入力と編集			タイプクイックLesson1～6		
	4	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・基礎)			タイプクイックLesson1～6		
	5	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表)			タイプクイックLesson1～6		
	6	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・図解)			タイプクイックLesson1～6		
	7	正しいタイピング・入力と編集(ビジネス文書・表・図解・イラスト)			タイプクイックLesson1～6 ⇒提出		
	8	検定対策(練習問題レベル1)			検定問題集の実施		
	9	検定対策(練習問題レベル2)			検定問題集の実施		
	10	検定対策(練習問題レベル3)			検定問題集の実施		
	11	検定対策(模擬問題レベル1)			検定問題集の実施		
	12	検定対策(模擬問題レベル2)			検定問題集の実施		
	13	検定対策(模擬問題レベル3)			検定問題集の実施		
	14	検定対策(サンプル問題)					
15	実技試験						
評価方法	(1)Word文書処理技能認定試験3級 (2)前期実技試験 (3)タイプクイック提出(Lesson6まで実施し、正確率95%とする) 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	Word文書処理技能認定試験		○	◎			50%
	前期実技試験		○	◎			50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は単位を与えない。操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する						

科目名	PowerPoint						
科目名(英)	PowerPoint						
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	ビジネスの現場で必要とされる、プレゼン能力の向上を図ることを目的として実施する。PPの効果的な使用方法を学び、目的に応じたプレゼンテーションの資料を組み立て、作成できることを目指す。また就職活動のプレゼンにも対応できるようにする。						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
			○			PowerPointの基本操作ができる(入力・表・グラフ・図解・イラスト)	
		○	○			目的に応じたプレゼン用資料を作成する	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	PowerPoint基本操作(テキスト・表・グラフ)①					
	2	PowerPoint基本操作(テキスト・表・グラフ)②					
	3	PowerPoint基本操作(図解・イラスト)①					
	4	PowerPoint基本操作(図解・イラスト)②					
	5	PowerPoint基本操作(目的にあわせた図解の作成)①					
	6	PowerPoint基本操作(目的にあわせた図解の作成)②				基本操作確認課題作成	
	7	プレゼン資料作成基礎①					
	8	プレゼン資料作成基礎②					
	9	プレゼン資料作成基礎③					
	10	プレゼン資料作成基礎④				プレゼン資料課題作成	
	11	プレゼン資料作成応用①					
	12	プレゼン資料作成応用②					
	13	プレゼン資料作成応用③					
	14	プレゼン資料作成応用④				プレゼン資料課題作成	
15	プレゼン最終課題作成						
評価方法	(1)基本操作確認課題提出 (2)プレゼン資料課題①提出 (3)プレゼン資料課題②提出 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
		基本操作課題提出	○	◎			60%
		プレゼン資料課題①提出	○	◎			20%
		プレゼン資料課題②提出		◎			20%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は単位を与えない。操作技能が3級レベルに達しない場合は補講を実施する						

科目名	ペン字						
科目名(英)	Pen character						
単位数	1	時間数	15	担当者	入江 陽子		
実施年度	2022	実施時期	後期	担当者実務経験	書道家として36年		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	ブライダル業界に携わるにあたり日常生活における硬筆書写の一般知識・理解を深め、業務遂行時に実践できる基礎力を習得する 正しいペンの持ち方、姿勢を守り、書写することにより集中力をつける						
授業形式	講義: △	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					正しい言葉遣いで、自分の履歴書を書くことができる	
			○			書式に従って、美しい文字で書写することができる	
			○			正しいペンの持ち方、姿勢で書写することができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	実用書① 氏名、実習のお礼状の書式			ボールペンの練習をしておくこと		
	2	ペン字基本 基本点画練習・筆順、基本点画			お礼状提出できるようにしておくこと		
	3	ペン字基本 字形の整え方(字形24体)・平仮名字源、練習、片仮名			筆順の復習		
	4	履歴書 履歴書を体裁よく書くコツ			履歴書の必要事項を調べておくこと		
	5	履歴書 履歴書ペン書き、練習			履歴書の下書きを調べておくこと		
	6	履歴書 履歴書清書、求職票			履歴書のペン書きをしておくこと		
	7	実用書② 年賀状、はがきの書式			履歴書の清書提出できるようにしておくこと		
	8	実用書③ のし書き、芳名帳			求職票下書きを書いておくこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)授業の中で清書した履歴書を試験のかわりとして評価する (2)課題(期日内提出)を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	履歴書	○	◎				80%
	課題・提出物				○		20%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	社会教養 I B						
科目名(英)	Social study I B						
単位数	1	時間数	15	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) パンケットキャプテン(3年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科1年						
授業概要	ブライダル実習に向かって準備をし、就職ナビノートをもとに、就職活動の流れを学び、求職面接に合格する						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ホテル実習のお礼状作成ができる	
		○				ブライダル実習用学生紹介シートの完成	
	○					求職票作成することができる	
				○		求職票受付面接の合格	
テキスト・教材 参考図書	就職ナビノート						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	後期目標設定・ホテル実習お礼状作成					
	2	ブライダル実習の意義・学生紹介シート下書き					
	3	学生紹介シート清書・ブライダル実習先企業研究					
	4	就職活動の流れ・自己分析					
	5	求職面接模範DVDを見て流れ、動作を覚える					
	6	求職票下書き					
	7	求職票清書					
	8	求職面接練習					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)ホテル実習お礼状作成 (2)学生紹介シート作成 (3)求職票作成 (4)求職面接合格						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	求職票面接合格	○			○		50%
	宿題・レポート				○		50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位取得不可「D」となる。						

科目名	就職指導						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	30	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	社会の仕組みを学び就職活動などにつなげていく。ブライダル業界における就職活動(スケジュール感や選考内容など)を深く理解し、自分自身の就職活動のイメージを明確にし目標を立てる。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					就職活動での試験の種類を理解する	
	○					各企業の特徴を知る。	
	○	○				就職活動における個人目標が設定できる。	
テキスト・教材 参考図書	就活ガイドブック						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業内容説明・専門学校における就職活動					
	2	会社の仕組み①(株式会社とは)					
	3	会社の仕組み②(ペーパータワーによる会社の収益を学ぶ)					
	4	会社の仕組み③(ペーパータワーによる会社の収益を学ぶ)					
	5	株価とは(株を買ってみよう)					
	6	自己分析及び企業研究の重要性					
	7	ブライダル業界の就職活動について①					
	8	ブライダル業界の就職活動について②					
	9	ブライダル業界の就職活動について③					
	10	ブライダル業界の就職活動について④					
	11	ブライダル業界の就職活動について⑤					
	12	ブライダル業界の就職活動について⑥					
	13	ブライダル業界の就職活動について⑦					
	14	ブライダル業界の就職活動について⑧					
15	まとめ・就職活動個人目標シート作成						
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	中間テスト	○	○				50%
	レポート(課題作成)		○		○		50%
履修上の注意							

科目名	ブライダル実習						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	40	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	全国の結婚式場・ドレスショップ・ジュエリーショップ・ホテルで8週間にわたって、ブライダル施設における就業体験を通して、より実践的な知識とスキルを習得する。また各県における業界のエリア特性も学ぶことで就職活動に活かす。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					ブライダルでの実践的な接客流れを学び、実際にお客様と会話することができる。	
		○				各ブライダル職種の特徴を知る。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
			○			配属先の業務を覚え、業務に必要な技術を身につけることでお客様に接客できる。	
テキスト・教材 参考図書	各ホテル及びブライダル企業の業務マニュアル、実習ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	各ホテル・各式場・各ショップでの実習					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習ノート・評価表・出勤状況	○	○	○	○		100%
履修上の注意							

科目名	一般教養 I B						
科目名(英)							
単位数	1	時間数	15	担当者			
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年						
授業概要	就職試験問題に対応できる基礎力を養成する。国語・数学・英語・社会における一般常識力を身に付け実際の採用試験に解答できる能力の養成を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				漢字検定準2級程度の漢字までは読み書きが出来る	
		○				計算問題を中心に正確に解答することが出来る	
	○	○				英検準2級程度の問題に解答することが出来る	
		○				地理や政治においての基礎的な内容を理解し説明が出来る	
テキスト・教材 参考図書	専門学校生のための一般常識トレーニング ミニテスト						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	授業概要説明、第3回実力テスト					
	2	ROUND11～13				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	3	ROUND14／15				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	4	ROUND16／17				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	5	ROUND18／19				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	6	ROUND20				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	7	ROUND11～15 まとめ				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	8	ROUND16～20 まとめ				テキストの該当部分の復習をしておくこと	
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験 (2)宿題や課題 (3)小テスト 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○		○		80%
	小テスト	○	○		○		10%
	宿題・レポート	○	○		○		10%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、単位を与えない。						

科目名	業界インターンシップ(自由選択)						
科目名(英)	Industry intership						
単位数	1	時間数	40	担当者	中村 直輝		
実施年度	2022年度	実施時期	通期	担当者実務経験	専門式場:ウエディングプランナー(8年) ドレスショップマネージャー(2年)		
対象学科・学年	ブライダル・ウエディング科 1年 2年						
授業概要	土日を中心に結婚式場・ドレスショップ・ジュエリーショップ・ホテルでのインターンを実施、各実習先における挙式・披露宴当日の接遇を学ぶ。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					挙式・披露宴の流れ及び接遇を学び、お客様に接客することができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業のルールに沿って業務できる。	
			○			配属先の業務を覚え、業務に必要な技術を身につけることでお客様に接客できる。	
テキスト・教材 参考図書	各ブライダル企業の業務マニュアル、実習ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	各式場・ショップでの実習					
	2						
	3						
	4						
	5						
	6						
	7						
	8						
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
	15						
評価方法	(1)実習ノート提出(出勤状況を記入・実習終了時の評価表)						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習ノート・評価表・出勤状況	○	○	○	○		100%
履修上の注意	40時間を1単位(最大1単位まで)						